

情報公開用文書（茅ヶ崎市立病院で実施する医学系研究）

西暦 2024 年 3 月 21 日 作成

<p>■研究課題名</p>	<p>『ERCP後胆管炎のリスク因子の検討』</p>
<p>■研究の対象</p>	<p>2021年4月から2024年3月までの期間に当院でERCP(内視鏡的逆行性胆管・膵管造影:Endoscopic Retrograde CholangioPancreatography)を施行した方のうち、小腸鏡を使用しておらず、また術前に胆管炎の診断がついていなかった方を対象とします。</p>
<p>■研究目的・方法</p>	<p>ERCPには種々の偶発症のリスクがあり、中でも急性胆管炎を発症した際の術後管理にはしばしば難渋します。当院でERCPを施行した症例について術後の急性胆管炎のリスク因子を検討し、予防策を検討することを目的としています。 上記の対象期間中に診療録に記録された診療情報を研究に使用させていただきます。使用に際しては、政府が定めた倫理指針に則り、個人情報管理責任者(医師 池田 佳彦)の管理のもと、厳重に保護した状態でおこないます。</p>
<p>■研究期間</p>	<p>2024年倫理審査委員会承認日～2024年12月31日</p>
<p>■研究に用いる 試料・情報の種類</p>	<p>診療情報より、以下の項目に関して調査、比較し解析をおこないます。 ・背景情報(年齢、性別、原疾患など) ・内視鏡治療の内容・成績 ・有害事象の有無・内容 ・内視鏡写真などの画像データ ・検体</p>
<p>■試料・情報の 取得と保管方法</p>	<p>本研究の解析対象者の解析情報は、院内のファイルサーバーにて厳重に保管・管理いたします。解析データは研究終了後に廃棄いたします。保管期間は、研究の終了について報告された日から5年を経過した日または研究結果の最終の公表について報告された日から3年を経過した日のいずれか遅い日までの期間とします。保管期間終了後は、紙媒体に関してはシュレッダーで裁断し廃棄します。その他媒体に関しては、匿名化のうえ適切な方法で廃棄します。</p>
<p>■外部への 試料・情報の提供</p>	<p>ありません。</p>
<p>■研究組織</p>	<p>茅ヶ崎市立病院 消化器内科</p>

本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので下記連絡先まで、電話またはFAXにてお申し出下さい。
また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも、患者さんに不利益が生じることはありません。

お問い合わせ先及び研究への利用を拒否する場合の連絡先:

〒253-0042 茅ヶ崎市本村5-15-1
茅ヶ崎市立病院消化器内科 (研究責任者) 池田 佳彦
電話番号:0467-52-1111(代表)